



ふるさとの自然 (65)

水面を飛び回る ギンヤンマ

○強い縄張り意識

夏はトンボが活発に活動する季節です。市内では25種類ほどのトンボが見られますが、その中で一回り大きく、速いスピードで水面を行き来するギンヤンマは、ひときわ目立つ存在です。小さな池や学校のプールにもやって来るので、市内各地で見られます。体の色は緑色で、腰の辺りが水色なのが雄、黄緑色なのが雌。雄は水面を飛び回りながら雌を探します。そのとき、別の雄を見つけると激しく追い立てます。

○つながって産卵

雌を見つけると、雄は尻尾の先のはさみのような部分で雌の首の後ろをつかみます。昔、この習性を利用して、糸の先に雌を縛って飛ばし、それにつかみかかってきた雄を捕まえる「トンボ釣り」という遊びがありました。

交尾した2頭はつながったまま飛んで産卵場所を探し、水辺の草の茎などに産卵します。産卵を終えるとギンヤンマはその一生を終えます。卵からかえった幼虫のヤゴは、ミジンコやボウフラなどを食べて成長し、次の夏に成虫となって水辺に帰ってきます。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ

あさひっ子



たつろう
達朗くん(左)
平成24年11月6日生

おうすけ
達介くん(右)
平成26年12月3日生

両親＝鈴木茂利さん
めぐみさん〔蛇園〕

「おはよう」って手をつなぐ。それが兄弟の毎朝の日課です。

はるな
心陽ちゃん

平成26年10月17日生

両親＝大竹基之さん
智子さん〔足川〕

おすわりもできるようになりました！ ニコッ！



ゆづき
結月ちゃん

平成26年6月14日生

両親＝神成田操さん
伸江さん〔高生〕

少し歩けるようになり楽しい！
早く公園で遊びたいなあ！



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、旭市子育て支援センターハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

合併による新旭市誕生から早くも10年がたち、2ページにあるように記念式典が行われました。これまでを振り返り、今後に向け決意を新たにしたい1日でした。また今年は広報担当として、取材を通していろいろなイベントに参加させていただきました。会場ではたくさんの人の笑顔や、スタッフとして関わる人たちの努力や情熱に触れることができました。8月も七夕市民まつりや市民音楽祭などイベントが続きます。この夏の思い出に、皆さんも出掛けてみてはいかがでしょうか。(M)

くらしのカレンダー

- 1日(土) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場開設中(～23日(日))
市営海浜プール開設中(～30日(日))
矢指ヶ浦復興イベント(矢指ヶ浦海水浴場)
- 6日(木) 第61回旭市七夕市民まつり(～7日(金))
中央商店街路上ほか)
- 9日(日) 第11回旭市民音楽祭(午後0時30分～ 東総文化会館)
- 15日(土) 戦没者を追悼し平和を祈念する日